

事業概要

- 1 当事業の目的
1) 水木しげる氏によるステンドグラスを通じたパブリックアート普及の重要性訴求
2) ステンドグラスを通じて芸術に親しむことによって、社会モラルが高まる環境創出
3) 米子・境港エリアの観光資源開発と地域の活性化に貢献
- 2 設置場所
米子鬼太郎空港ビル2階国内線・国際線出発口前（鳥取県境港市佐斐神町1634番地）
- 3 完成時期
2016年2月下旬
- 4 題名
「妖怪たちの森」
- 5 規模
幅 約10.2m、高さ 約2.8m 使用ガラス数：約2,600ピース
- 6 原画制作
鳥取県境港市出身の日本を代表する世界的漫画家、水木しげる氏制作
- 7 作品について
手作りのガラス「アンティークグラス」をはじめ、ヨーロッパ発祥の伝統的な素材、技法により制作された大型ステンドグラス。妖怪たちやそれを取り囲む植物の細かな表情は、職人が丹念に「絵付け」をして表現。専用の絵具「グリザイユ」でガラスに絵を描き、焼成して定着させるこの作業も、1,000年以上昔から変わらない伝統技法の一つで、ヨーロッパの伝統と「漫画」・「妖怪」という日本的なテーマが融合した作品



絵付け風景

- 8 ステンドグラス制作
クレアーレ熱海ゆがわら工房（所在地:静岡県熱海市泉230-1）で6名の職人が制作
- 9 原画作者プロフィール
水木しげる（水木・しげる）

1922年生まれ（享年93歳）
鳥取県境港市で育つ
太平洋戦争時、激戦地であるラバウルに出征、爆撃を受け左腕を失う
復員後紙芝居画家となり、その後貸本漫画家に転向
代表作「ゲゲゲの鬼太郎」「河童の三平」「悪魔くん」など

1965年 「別冊少年マガジン」に発表した「テレビくん」で第6回講談社児童まんが賞受賞
1991年 紫綬褒章
2003年 旭日小綬章
故郷の鳥取県境港市に「水木しげる記念館」が開館
2007年 「のんのんぱあとオレ」アングレーム国際漫画フェスティバル最優秀コミック賞受賞
2009年 「総員玉砕せよ！」アングレーム国際マンガフェスティバル遺産賞受賞
2010年 文化功労者
2012年 「総員玉砕せよ！」ウィル・アイズナー賞最優秀アジア作品賞受賞

「クレアーレ熱海ゆがわら工房」について

当協会は、芸術文化の振興および環境芸術推進活動の一環として、熱海と信楽においてステンドグラス、陶板レリーフ、彫刻、モニュメントなど、パブリックアートの研究や制作支援を行っています。建築家・隈研吾氏の設計・監修によるクレアーレ熱海ゆがわら工房は、釉薬研究施設、焼成サンプル室、ステンドグラススタジオ、ショールームなども完備され、数多くのアーティストとのコラボレーションが展開される、第一級のパブリックアートの創造拠点です。

所在地

静岡県熱海市泉 230-1



五十嵐威暢氏（右）



宮田亮平氏



野見山暁治氏



大友克洋氏



クレアーレ熱海ゆがわら工房の外観



日比野克彦氏